

日野市教育委員会 様

日野市立日野第一小学校  
校長 小川 真由美  
(公印省略)

令和8年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基底として、自律的・協同的に行動し、未来をひらき持続可能な社会の担い手となる自覚と資質・能力を備えた心身ともに健康な人間の育成を目指すために次の目標を設定する。

◎かしこい子（すすんで学び、よく考え判断し表現し伝え合おうとする子供）

○やさしい子（自他の命を大切にし、よりよく生きようとする子供）

○元気な子（心も体も健康で、粘り強く行動する子供）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

第4次日野市学校教育基本構想の基本方針「みんなの多様な学びと多様なしあわせをつくる」を重点とし、「安心できる学校プロジェクト」を推進していく中で学校教育目標の実現を図る。

ア かしこい子

- ・学ぶ意欲を高める「分かる」「できる」喜びや楽しさを実感できる授業づくりに取り組み、基礎基本の定着に取り組む。
- ・仲間とともに考え、話し合い、豊かに表現できる力や、よく考えて判断・行動する力を育む教育活動に取り組む。

イ やさしい子

- ・教育活動全体を通して自他の生命を尊重し、思いやる心情を育て、豊かな心の醸成を図る道徳教育を充実する。
- ・特別支援学級、特別支援教室における個に応じた指導・支援を一層充実させるとともに、通常の学級に在籍する配慮を要する児童への組織的な支援を充実する。

ウ 元気な子

- ・基本的な生活習慣と規律ある生活態度を身に付け、健康で安全な生活を送る力を育む。
- ・学校内外での体験活動を通して探究心や地域との絆を育む。
- ・自分から目標を立て、最後まで粘り強くやり遂げる力を育む。

エ 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ・「第4次日野市学校教育基本構想」の「安心できる学校プロジェクト」について年間を通して取り組み、学校が児童にとっての安心安全な場所となるような教育活動を充実する。
- ・スタートカリキュラムによる幼稚園、保育園からの円滑な接続、中学校との連携教育を推進する。



## 2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

## ア 各教科

- ・デジタル学習基盤を活用して個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、誰一人取り残さない形で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる。
- ・児童が自らの学習改善につなげるための評価と、授業改善に資するための評価のそれぞれを充実させ、指導の改善に生かす指導と評価の一体化を進める。
- ・児童が「楽しい」「分かる」「できる」ために、UDLの視点から授業展開や環境整備等の授業改善に努める。また、算数科においては、第3～6学年で少人数習熟度別指導を行い、個に応じた指導の充実を図る。
- ・思考力・判断力・表現力等を育成するため、各教科の言語活動に関わる学習の充実を図る。
- ・年間3回以上、外部講師を招聘しての指導・助言を含んだ校内授業研究を実施する。

## イ 特別の教科 道徳

- ・「生命の尊さ」、「親切、思いやり」、「希望と勇気、努力と強い意志」を重点内容項目とし、年間で複数回指導を行う。
- ・道徳性を身に付けるため、児童が他者や自己と対話しながら、物事を多面的・多角的に捉えたり考えたりする機会を設定し、多様な感じ方や考え方に触れられるよう授業を工夫する。
- ・「考え・議論する道徳」となるよう、道徳的諸価値についての理解を基に自分との関わりで捉え、協働し対話する授業を充実させる。
- ・学校、家庭、地域が連携して道徳教育を行うために、道徳授業地区公開講座を実施し、地域の方や保護者と意見交換を行う。

## ウ 外国語活動

- ・言語や文化の違いを理解し、ALTやデジタル教材等を活用して積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

## エ 総合的な学習の時間

- ・自ら学習課題を設定し、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決する力を養うために、ねらいを明確にし、「課題の設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」の探究過程を繰り返す学習に取り組む。
- ・SDGsの17の目標達成を推進するために自分たちができることを考え、地域を学びのステージとして、地域の自然、文化、施設、人材などを活用した探究的な学習に取り組む。

## オ 特別活動

- ・学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事を通して、よりよい人間関係を形成する力、社会に参画する力、自己実現を図る力を育てる。
- ・児童が特別活動を通して、自主性・協働性・社会性を育むために、各教科での思考力・判断力・表現力の育成、道徳科における道徳的実践力、外国語活動でのコミュニケーション能力、総合的な学習の時間での探究的学習との関連を図る。
- ・キャリア・パスポートを活用して、児童が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげることができるようになる。

## (2) 生活指導・進路指導

### ア 生活指導

- ・「五つのやくそく」や「ひのいちスタンダード」を活用して、全教職員が共通理解のもと、同じスタンスで指導にあたり、保護者の理解と協力を得ながら規範意識や節度ある生活態度や自己指導能力の育成に取り組む。
- ・様々な状況を想定した避難訓練や朝の安全指導、SOS の出し方に関する教育やセーフティ教室等の安全教育の実施を通して、児童が自ら危険を予測・回避し、SOS を出せる力を身に付けられるようにする。
- ・全教職員で「日野市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき一貫した指導を行うために、いじめ防止研修を実施し、内容の周知徹底と共通理解を図る。学校生活アンケートを年間5回実施し、実態を把握するとともに、学校いじめ対策委員会を中心に、児童一人一人に寄り添いながら、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に当たる。
- ・不登校の早期発見・早期対応のため、出席状況調査や家庭訪問等に基づいて児童の実態や変容を把握し、組織的・計画的に児童の支援に当たる。不登校状態の児童に対しては、ふらっとルームの活用やSCとの面談等により組織的に対応する。
- ・生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解させ命を大切にすることや、自分や相手、一人一人を大切にすることを発達段階に応じて身に付ける生命（いのち）の安全教育に取り組む。

### イ 進路指導

- ・社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けられるようキャリア教育の全体計画に基づき現在や将来に夢や希望を抱き、その実現を目指して人生を創造する力を育む。
- ・児童が自己の進路について、主体的に考え進学に対し希望がもてるよう近隣の中学校と連携を図り、備えておくべき、資質や能力を育む。

## (3) 特色ある教育活動

- ・「第4次日野市学校教育基本構想」の「安心できる学校プロジェクト」に取り組み、学校・学年行事や学級活動の充実と一人一人が活躍できる場について工夫していく。
- ・「GIGA ワークブックとうきょう」に基づいたICT機器の効果的な活用を通して、情報活用能力を育成するとともに、コンピュータやインターネットを適切に活用し、社会の一員として責任ある行動をとれるようにするためにICTの時間を朝の活動として設定し自分で行動するスキルを身に付けられるようにする。
- ・「オリンピック・パラリンピック教育」で培われたオリンピック精神に基づき、「学校2020レガシー」としてスポーツを愛好する心情とともに、日本の伝統・文化の理解や障害者理解教育の充実を図っていく。
- ・「第6次日野市特別支援教育推進計画」に則り、特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育の指導体制を充実させ、個別の指導計画に基づく指導を進める。また、多様な個性についての相互理解を深め、共に生きる力を育てるために、特別支援学級との交流及び共同学習、特別支援学校と連携した副籍交流を実施する。
- ・保育園や幼稚園での学びと育ちを生かし入学後の小学校生活の充実を図るためにスタートカリキュラムを実施し、合科的・関連的な指導を工夫する。また、第1学年児童の自己肯定感を高め、就学を目前にした園児に小学校生活への期待を育むために、直接的な交流活動を実施する。
- ・豊かなスポーツライフの土台となる力を育ため、すべての児童が運動の楽しさを実感できるよう、全校児童による体育的活動を取り入れる。また、がん教育をはじめ健康安全な生活に関する指導の充実を図る。